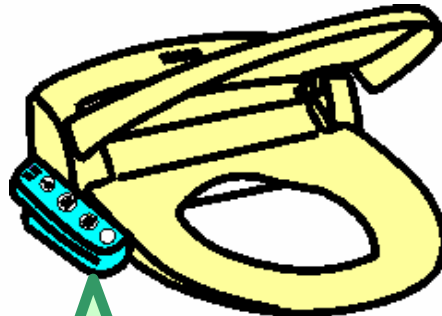


便座と洗浄用温水の温度を低めに設定しましょう。

温水便座の設定温度もしくは温度モードを低めに設定することで、省エネを図ります。

対策例



- ・便座温度を「低」とする。
- ・洗浄用温水温度を「低」とする。
- ・営業上問題がなければコンセントを抜く

省エネ対策のポイント

- ・温水便座のあたため機能を停止することで、1便器あたり500W程度の節電になります。
- ・使用者からのクレームにつながる恐れがあるため、省エネ対策のため温水便座の利用を停止している主旨を張り紙で掲示するなどの対応が必要です。
- ・会社や不特定多数の利用者が多い温水便座の温度については、管理者による設定変更のみの対応とすることができます。

参考

<温水便座に有効な省エネ対策例>

- 夏場は、便座の暖房を切りましょう
夏場の暖かい時期は、便座の暖房機能を「切」にすることで節電になります。
- 使用後はトイレの便ふたを閉めましょう
便ふたを閉めておくと、便座表面の熱が逃げにくくなります。
- 長時間使用しない時は、「運転入/切」スイッチを「切」にしましょう
外出時など「運転入/切」スイッチを「切」にしておくと節電になります。
- 「リモコン便器洗浄」スイッチの大・小を使い分けましょう
大小スイッチを使い分けると、水道代が節約になります。
- 節電機能（タイマー節電など）を有効に活用しましょう
一度設定すると毎日その時間に便座ヒータが切れて節電します。